

悲愴交響曲

チャイコフスキー

広島交響楽団
石川県立音楽堂
コンサートホール
2023
6/15(木)
19:00開演
18:00開場

Music for Peace

指揮 Conductor
徳永二男
Tsugio Tokunaga

Tchaikovsky
Eugene Onegin, Polonaise
Violin Concerto
Symphony No.6 "Pathétique"

ヴァイオリン協奏曲



外村理紗
Risa Hokamura

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

チケット料金 全席指定 3,500円(税込)

チケット発売日 2023年4月24日(月)

プレイガイド

石川県立音楽堂チケットボックス TEL076-232-8632

(受付時間/窓口9:00~19:00、電話10:00~18:00)

チケットぴあ(Pコード:242-133)、ローソンチケット(Lコード:54258)

広響webチケット、広響事務局

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催：公益社団法人日本オーケストラ連盟、公益社団法人広島交響楽協会

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会



創立60周年「繋ぐ」



オーケストラ・キャラバンについて

「オーケストラ・キャラバン」は、文化庁のアートキャラバン2(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業)により開催されます。新型コロナウイルス感染症によって、芸術に触れる機会が遠のいた人々に再び芸術を鑑賞する喜びを体験していただくとともに、文化芸術の質の向上や重要性と魅力の発信を目的として、全国各地で開催されます。繊細な最弱音から迫力ある最強音まで、オーケストラの多彩な楽器が奏でる「生」の音楽の魅力をお楽しみください。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。



©Tomoko Hidaki

指揮：徳永二男 Conductor : Tsugio Tokunaga

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。

ヴァイオリニストの父茂および鷺見三郎氏に師事。桐朋学園にて、齋藤秀雄氏に師事。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。1968年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。

1976年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担い、長年NHK交響楽団の“顔”として抜群の知名度と人気を誇る。

NHK交響楽団在籍時代よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれ、とりわけ、ケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演での、ヴォルフガング・サヴァリッシュ氏との室内楽コンサート、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートに出演して絶賛を博した。

1994年にNHK交響楽団を退団し、ソロ、室内楽に専念。

1992年より鎌倉芸術館ゾリステンを主宰し、1995年から2013年までJTアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、1996年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務めるなど、日本音楽界の中心的立場を確固たるものとしている。

ソリストとしても、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。

2008年から毎年、東京でリサイタル・シリーズを行う一方で、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。2015年は、ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクールの審査員を務めた。2016年には、楽壇生活50周年を迎え、多くの記念公演を行い、文化庁長官表彰を受ける。

近年は指揮者として、東京フィル、広島響、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。2018年には、ギドン・クレーメルをソリストに迎え、クレメラータ・バルチカと広響の合同オーケストラを指揮して好評を博した。2020年のベートーヴェンイヤーには、仲道都代氏とヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い好評を博す。21年は、楽壇生活55周年を迎え、多くの演奏家や弟子たちが国内外から集い、サントリーホールにて記念演奏会を行う。

CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、バガニーニのカプリースなどをリリースしており、最新盤は「徳永二男プレイズ R.シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ」(オクタヴィア・レコード)。

ヴァイオリン：外村理紗 Violin : Risa Hokamura

3歳でヴァイオリンを始め、7歳から小林健次氏に学び、東京音楽大学付属高等学校を特別特待奨学生として卒業した。現在、マンハッタン音楽学校のクラシック・ヴァイオリン演奏科フルスカラーシップ生として原田幸一郎とルーシー・ロバートの各氏に師事。同時に東京音楽大学アーティストディプロマコースでも特別特待奨学生として原田幸一郎、神尾真由子、小栗まちなを各氏に師事している。

10歳から日本国内の様々なコンクールで最高位を受賞。2017年、第86回日本音楽コンクール第2位。2018年、アメリカの第10回インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクールに出場し第2位(最年少ファイナリスト)を受賞。日本人としては6大会24年ぶりの入賞となった。同年、ニューヨークで開催されたYoung Concert Artists International Audition で優勝したことにより、マネジメント契約とニューヨーク、ワシントン、ボストンでのデビューリサイタルの機会を得た。

これまでインディアナポリス交響楽団、イーストコースト・チェンバーオーケストラ、マンシー交響楽団、グリーンズボロ交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団などと共演し、技量の高さとしなやかな自然さを披露している。

NHK-FM「今日は一日“ありがとうFM50”三味 クラシック編」、「リサイタル・パッシオ」、BSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」などメディアにも多数出演している。

2018年度・2019年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。第47回江副記念リクルート財団奨学生。

日本音楽財団より、1722年製のストラディヴァリウス「ジュピター」を貸与されている。



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を拠点に“Music for Peace～音楽で平和を～”をテーマに活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽によるメッセージを発信している。「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」「第51回ENEOS音楽賞洋楽部門奨励賞」ほか受賞。公式Web <http://hirokyo.or.jp/>



広島交響楽団の活動については、公式ホームページ、SNSをご覧ください。

<http://hirokyo.or.jp>

広響



広島交響楽団の演奏を

YouTubeでお楽しみいただけます。

広響チャンネル▶



オーケストラ・キャラバン ～オーケストラと心に響くひとときを～

広島交響楽団 黒部公演 黒部市国際文化センター コラーレ(富山県黒部市三日市20番地)

2023.6.16.Fri 18:30 開演 (18:00 開場) 指揮：徳永二男 ヴァイオリン：外村理紗

チケット料金(全席指定・税込) / 一般：3,000円 学生：1,000円

ご予約・お問い合わせは 広響事務局 TEL082-532-3080 まで

チケット
好評販売中

